



営業の中間ご報告

(ミニディスクロージャー誌)

2015.9. 平成27年4月1日～平成27年9月30日



池田泉州ホールディングス

池田泉州銀行

池田泉州証券



関西を代表する、開かれた新金融グループに相応しい、関西2府4県の形をモチーフとしたシンボルです。上へと伸びる縦のラインは、新金融グループの誕生によって関西エリアに様々なネットワークのつながりが広がっていくことを表現しています。
ブランドカラーは水をイメージ。新金融グループの成長性や自由闊達な社風を象徴する澄んだ青色です。

経営理念

「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、地域の皆様に「愛される」金融グループを目指します。

経営方針

- ①人と人とのふれあいを大切にし、誠実で親しみやすく、お客様から最も「信頼される」金融グループを創ります。
- ②情報収集と時代の先取りに励み、先進的で高品質なサービスの提供によって、地域での存在感が最も高い金融グループを創ります。
- ③健全な財務体質、高い収益力、経営効率の優位性を持つとともに、透明性の高い経営を行い、株主の信頼に応えます。
- ④産・学・官のネットワークを活用し、様々なマッチングを通して、「地域との共生」を進めます。
- ⑤法令やルールを厳守し、環境に配慮した企業活動を行うことによって、社会からの信頼向上に努めます。
- ⑥グループ行員に、自由闊達に能力を發揮し、また能力向上を図れる職場を提供するとともに、よき市民としての成長を支援していきます。

ごあいさつ	2
「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指します	3
株主・投資家のみなさまへ	4
経営計画	5
トピックス	7

業績ハイライト	
● 池田泉州ホールディングス	9・11
● 池田泉州銀行	9・12
プロフィール	13
店舗のご案内	14

ごあいさつ

平素は池田泉州ホールディングスグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

平成27年度中間期の業績につきまして、池田泉州ホールディングス(連結)の純利益は85億円と過去最高益を更新した前年を上回るペースで推移しております。

池田泉州銀行の預金残高は年間515億円、貸出金残高は年間447億円と、それぞれ順調に増加いたしました。特に、最も力を入れております地元中小企業向けの貸出は、755億円の増加となりました。

産学官の連携では、12月3日・4日の両日、『ビジネス・エンカレッジ・フェア2015 地域創生～関西から新たなチカラを～「しごと」を創る「ひと」が集まる「まち」をつくる』を開催いたしました。平成12年より続く当フェアの趣旨「地元関西の仕事の創造、競争力の強化のお役に立ちたい」との想いを継承するとともに、更に今年度は「地域」創生をメインテーマとし、産学官の出会いの場を設け、多面的なビジネスチャンス創出のお手伝いをいたしました。

「産官学金労言」の連携が求められるなか、10月より「地域」創生への新しい取組みのひとつとして、「金(金融)」と「言(メディア)」の連携により、地元企業を応援するラジオ番組「日本一明るい経済電波新聞」の提供も開始いたしました。

また、新たなサービスとしましては、11月より若年層専用サービス「U23 “0円(応援)” サービス」の取扱いを開始いたしました。ATM手数料の終日無料サービスにより、次世代を担う若者を応援してまいります。

私どもは、「地域第一主義」「お客さま第一主義」の理念を大切に、「関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ」を目指して、「地域の皆さまからのご支持No.1」のご評価をいただけますよう、全力で取り組んでまいります。今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年 12月

池田泉州ホールディングス 取締役社長
池田泉州銀行 取締役頭取 **藤田 博久**



地域との「共存共栄」を図りつつ、 「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指します。



地元自治体との連携

地元自治体との連携により、地域の事業者の皆さまへの資金供給や「地域ブランド」の育成・発信のお手伝いなど、地域の活性化に取り組んでいます。

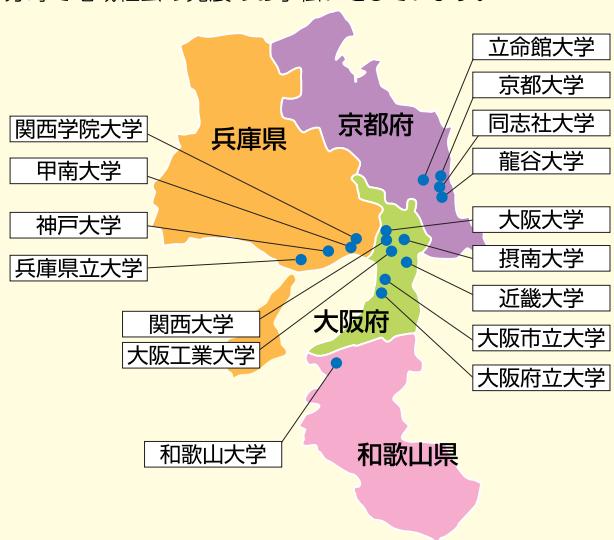


当社グループは「地域金融グループ」として、地域の発展があってこそ私たちの成長があると考え、「地域との共存共栄」が最も大切なことであり、地域活性化への取組み等を通じて地域への貢献力を高め、地域力そのものを増大させて、私たち自身の成長に繋げたいという、いわば『地域との共存共栄サイクル』の構築が使命であると考えております。

私どもは、これからも地域との共存共栄に努め、「親切で・新しい」商品・サービスの提供を通じて特色ある地域金融グループを目指してまいります。

大学との連携

大学との連携により、大学発のベンチャー企業への投融资支援のほか、産業、学術研究、人材育成、まちづくりなど、様々な分野で地域社会の発展のお手伝いをしています。



当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、適切な情報開示と透明性の確保、株主との対話、および政策保有株式の削減など、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでおります。

株主還元方針について

平成28年3月期より『業績連動型』株主還元を導入し、今後蓄積される内部留保をもとに株主の皆さまへの還元を強化いたします。

業績連動の考え方

- ① 1株あたり15円配当を安定的に継続
- ② ベースの利益を175億円とし、連結当期純利益の実績がこれを上回った場合、他の要素も勘案しながらその上回った部分の30%程度を配当もしくは自己株式の取得の方法により還元
- ③ 株主還元比率25~30%を目指し、市況動向等を考慮したうえで毎期判断

株主懇談会の開催

経営の透明性を高め、当社グループへのご理解を一層深めていただくために、情報開示に積極的に取り組んでおります。

その一環として、池田泉州ホールディングスでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、平成27年10月26日に株主懇談会を開催しました。

当日は午前の部・午後の部に分けて2回開催し、多くの株主さまにご参加いただきました。マーケットセミナーとして当社の近況のご報告および外部講師による講演のほか、懇話会として弊社社長以下取締役が株主の皆さまと対話をを行うことで、当社についてより深くご理解をいただける場となりました。



株主優待制度の拡充

当社株主さまの日頃のご支援にお応えするため、毎年3月31日現在で当社株式を200株以上保有されている株主さまに株主優待を実施しております。

2,000株以上を保有されている株主さまには、地域の特産品（和・洋菓子、地酒、食品等）をお選びいただける「株主優待カタログ」をご用意しております。

平成28年3月期より、10,000株以上を保有いただいている株主さまに、新たに一層充実した地域ブランドをお届けすることを目的に、株主優待制度を拡充することいたしました。

【株主優待カタログ】

保有株数	保有期間		拡充
	3年未満	3年以上	
10,000株以上	5,000円相当	10,000円相当	
6,000株以上	3,000円相当	5,000円相当	
2,000株以上	2,000円相当	3,000円相当	

株主優待制度につきまして、詳しくは本誌18ページをご覧ください。

格付

池田泉州銀行は格付投資情報センター(R&I)、日本格付研究所(JCR)から、それぞれ「A-」の格付を取得しております。

「格付」とは、利害関係のない公正な第三者である格付会社が、企業等の信用度や債務履行の確実性等を客観的に評価し、簡単な記号で表したもののです。

格付投資情報センター
(R&I)



日本格付研究所
(JCR)



格上(27.8.24)



基本戦略(3つの勝ち残り戦略)

経営の基本戦略として「効率化戦略」「アライアンス戦略」「成長戦略(3つの独自戦略)」を推進してまいります。

効率化戦略

合併シナジーの実現・ローコスト体制の強化

アライアンス戦略

系列・グループにとらわれない自由な独自のビジネスネットワークの構築

高品質な提携ネットワークを活用した、優れた商品・サービスの導入

成長戦略(3つの独自戦略)

① アジアチャイナ本部 ~アジア・チャイナビジネスのサポート力強化

提携ネットワーク強化、及びアジア通貨決済やクロスボーダーローン等による地元企業の海外進出や貿易取引のサポート、自治体・商工会議所との連携によるセミナー開催や、海外ミッション、海外企業との商談会等、情報・サービスの提供に努めてまいります。

② 先進テクノ本部 ~産学官連携推進と地元企業の技術サポート

国・自治体・大学・公的研究(支援)機関等との緊密なネットワークを活用・拡充し、産学官連携を推進しながら、助成金制度や技術マッチング等を通じて、先進的技術を持つ成長企業の支援、新産業創出に貢献してまいります。

③ プライベートバンキング本部 ~プライベートバンキング業務の推進

経験豊富な「プライベートバンカー」を設置し、「プロが」「中長期的に」「幅広く」「オーダーメイドで」、様々なニーズにお応えしてまいります。

成長戦略(3つの独自戦略)を更に高めるため、『リレーション推進部』では3本部(アジアチャイナ本部、先進テクノ本部、プライベートバンキング本部)をはじめ各本部と連携し、地元企業のさまざまなニーズや課題の解決をお手伝いすることで、地域創生、地域活性化、地域との共存共栄に努めてまいります。

グループ中期計画

地域貢献を実践するための
高品質な商品・サービスネットワーク

地域貢献を実践するための
収益力強化

SIHDグループの
社会的責任(CSR)

強固な「地域リレーション」

2015年度(計画)

地域の皆さんに愛され、最も信頼される金融グループ

オリジナルな「グループ機能」

SIHD(連結)	経常利益	185億円以上
	当期純利益※	160億円以上

お客さま 金融仲介機能の発揮

多彩な「アライアンス」

銀行(単体)	コア業務純益	210億円以上
	経常利益	165億円以上
	当期純利益	150億円以上
	コアOHR	60%台
	自己資本比率	10%程度

地域社会 地域への貢献

株主・投資家 企業価値の向上

従業員 仕事満足度の向上

※親会社株主に帰属する当期純利益

長期経営計画～2020年度に向けて

目指すべき姿は—“関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ”

～地域の皆さまからのご支持No.1～

従来からの『基本戦略』『グループ中期計画』は継続させるとともに、将来の環境変化を踏まえた、持続可能な収益モデルを付加してまいります。

●重点戦略

収益力の
拡大

独自の提案力強化と
変化に対応した
『ビジネスモデル』確立

強靭な企業
体质の確立

BPRの徹底
↓
合併シナジー極大化

自己資本の
充実

最適な長期的資本政策
の遂行

●当行が目指す【新たな収益モデル】

中小企業／オーナー

地元地主層

個人シニア層

- ①貸出業務は『収益』ビジネスの入口
- ②世代を繋ぐビジネスへの取組み
- ③住宅ローンストックを活かした商品提案の多様化
- ④預り資産の増強
- ⑤アジアチャイナ戦略の更なる強化
- ⑥チャネル戦略の変革
- ⑦BPR(コスト削減)

●2020年度の目指すべき経営指標

池田泉州ホールディングス(連結)	2014年度(実績)
経常利益	213億円
税金等調整前当期純利益	228億円
当期純利益※	175億円
自己資本比率	10.09%

池田泉州銀行(単体)	2014年度(実績)
コア業務純益	179億円
総資産	5兆5,010億円
コア業務ROA(与信コスト控除後)	0.31%
コアOHR	71.73%
自己資本比率	9.27%

2015年度 【中期経営計画】	(予想)
185億円以上	220億円
185億円以上	—
160億円以上	180億円
10%程度	10%半ば

2020年度 【長期経営計画】	
250億円以上	
250億円以上	
165億円以上	
10%程度	

2020年度 【長期経営計画】	
270億円以上	
6兆円以上	
0.4%台半ば	
60%台前半	
10%程度	

※2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」

地域経済活性化への貢献 「ビジネス・エンカレッジ・フェア2015」開催

平成27年12月3日・4日の両日、大阪国際会議場において『ビジネス・エンカレッジ・フェア2015 地域創生～関西から新たなチカラを～「しごと」を創る「ひと」が集まる「まち」をつくる』を開催しました。地元関西の仕事の創造、競争力の強化のお役に立つために、平成12年よりスタートした当フェアは、今年度は、地域における「産官学金労言」の連携が求められる中、「地域創生」をメインテーマとし、お取引先さまが持つ特徴ある製品・サービス等の展示や大学・公的研究機関による先進技術の展示など、産学官の出会いの場を設け、多面的なビジネスチャンス創出のお手伝いをしました。当行はこれからも「地域第一主義」「お客さま第一主義」を念頭に、地域社会・地域経済の活性化へ貢献してまいります。



写真は、昨年の「ビジネス・エンカレッジ・フェア2014」

創業期の事業者さま向けの商品・コンサルティング機能を充実

当行は「地域創生」の取組みの一環として、地域に新たなビジネスや雇用を創出し、地域経済の活性化につながる創業を応援しています。

平成27年8月28日には創業に関する情報提供・ご相談への対応等を強化するため、日本政策金融公庫と業務連携・協力に関する覚書を締結しました。9月1日からは、創業期の事業者さま向けの融資商品、創業応援ローン「夢ひろがる」の取扱いを開始し、あわせて当行65力店に「創業応援窓口」を設置するなど、創業期の事業者さま向けの商品、コンサルティング機能の充実を図っています。



マイナンバー制度への対応セミナーを開催

平成28年1月のマイナンバー制度導入に先駆けて、平成27年8月24日、「開始直前!まだ間に合うマイナンバー制度への対応」と題し、セミナーを開催しました。

第1部では、富士通株式会社から、法人におけるマイナンバー制度の概要とその対応について説明していただきました。また、第2部では、当行子会社の池田泉州システム株式会社より、マイナンバー制度への対応に必要な管理システムや教育ソフトを紹介しました。参加者からは「自社が対応すべきことが明確になった」等のご評価をいただきました。

本セミナーには多くの申し込みをいただき、ご好評につき9月10日および10月14日にも開催しました。当行は、これからもお客さまへのタイムリーな情報提供に努めてまいります。



「ベトナムビジネス商談会＆セミナーin堺」を開催

平成27年11月5日、産業振興連携協定を締結している堺市と連携し、「ベトナムビジネス商談会＆セミナーin 堺」を開催しました。商談会には26社35名、セミナーには47社76名もの事業者さまにご参加いただきました。

ビジネス商談会では、「日本の中小企業との業務提携や技術・製品の取扱」などを希望するベトナム企業12社との商談の場を設け、セミナーでは、「ASEAN経済共同体(AEC)におけるベトナムへの期待」をテーマとした講演および地元企業の経営者よりベトナム進出の具体的な取組事例を紹介いただきました。当行はこれからも、地元企業の海外事業展開の応援など、地域創生に積極的に取り組んでまいります。



南海電鉄難波駅構内に自動外貨両替機を設置

平成27年11月9日、南海電鉄難波駅構内ラピート乗り場すぐ横の外貨両替ショップ難波駅店を自動外貨両替コーナーにリニューアルしました。

自動外貨両替機設置により午前6時30分から午後10時までのお取引が可能となり、従来の営業時間(正午から午後7時30分まで)と比べ、8時間の大幅拡大となります。また、お取引は、アメリカドル・ユーロ・オーストラリアドル・中国元・韓国ウォン・台湾ドル・カナダドルの7通貨の販売および香港ドルを加えた8通貨の買取りを取り扱っており、一層便利に、よりスピーディーにご利用いただけます。当行は、増加する訪日外国人観光客や海外へ旅行または出張をされる日本のお客さまの利便性を第一に考え、今後も充実したサービスを提供してまいります。



池田泉州銀行×ヴィッセル神戸 「キッズわくわく親子サッカー教室」を開催

当行がスポンサーを務めるJリーグクラブ“ヴィッセル神戸”とタイアップし、小学生とその親御さま向けのスポーツイベント“キッズわくわく親子サッカー教室”を、平成27年10月3日に開催しました。当日は好天にも恵まれ、ヴィッセル神戸のホームスタジアム“ノエビアスタジアム神戸”横の芝生広場にて、ヴィッセル神戸サッカースクールのコーチによる指導のもと、親子でサッカーを楽しんでいただきました。

サッカー教室終了後のヴィッセル神戸トップチーム選手との交流会では、一緒に写真を撮ったり、サインをもらったり、質問に答えてもらったりと、普段は体験することのできないプロサッカー選手との交流を大いに満喫されました。



池田泉州TT証券 『投資の日』記念セミナー開催

池田泉州TT証券では、「証券知識普及プロジェクト」の活動の一環として、10月4日の「投資の日」を記念し、平成27年10月14日の池田を皮切りに、高石(10月15日)、神戸(10月21日)にて、「投資の日」記念 池田泉州TT証券マーケットセミナーを開催しました。更に、11月18日には千里中央、堺、神戸の3会場にて同セミナーを開催し、合計6会場にて多くのお客さまにご参加いただきました。

また高石会場では、「投資の日」マスコットキャラクターの“とうしきん”と『投資の日』のぼりでお客様をお出迎えしました。



池田泉州ホールディングス

連結経常収益は、資金運用収益及び株式等売却益の増加などにより、560億39百万円となりました。連結経常費用は、資金調達費用や営業経費などの減少がありましたが、国債等債券売却損などの増加により457億42百万円となりました。

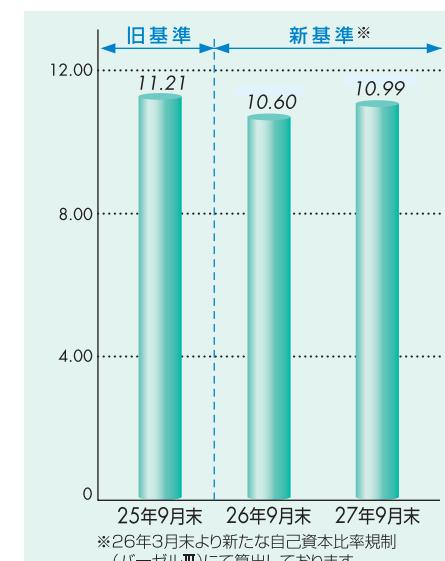
以上の結果、連結経常利益は26年9月期比6億29百万円増加して、102億96百万円となりました。

また、特別損益や法人税等合計を計上後の親会社株主に帰属する中間純利益は、26年9月期比4億97百万円増加して、85億96百万円となりました。

■連結経常利益・中間純利益^{*} (単位:百万円)

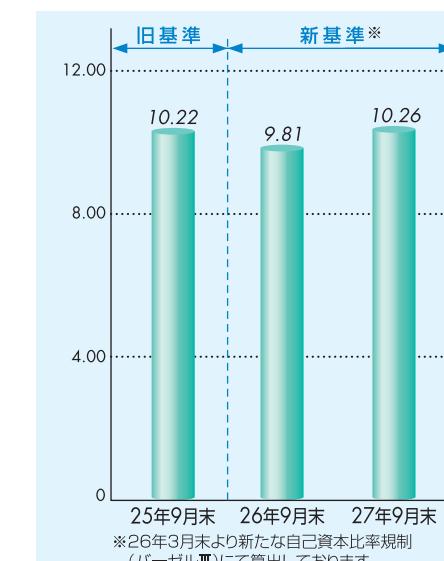


■連結自己資本比率(国内基準) (単位:%)



池田泉州銀行

■自己資本比率(国内基準) (単位:%)



■預金残高 (単位:億円)



■個人総預かり資産残高 (単位:億円)



池田泉州銀行

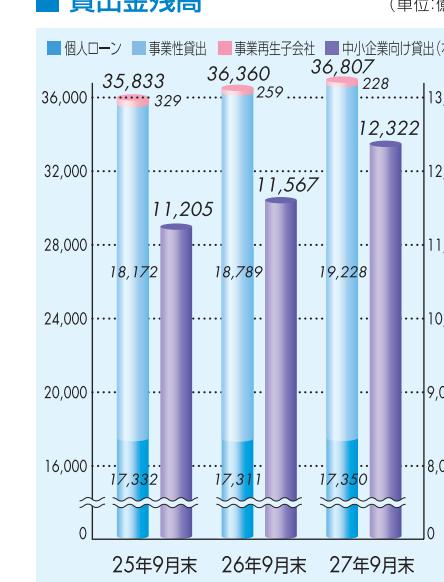
■コア業務純益



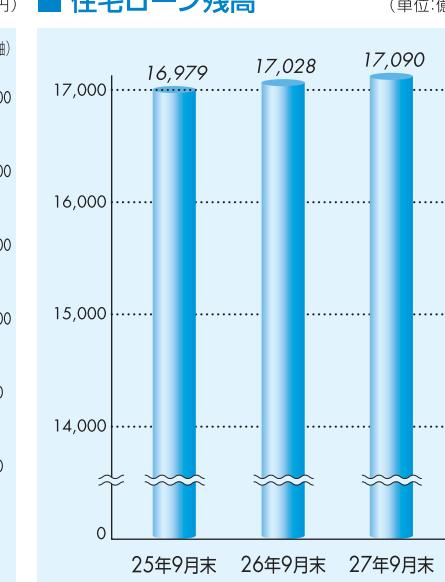
■経常利益・中間純利益 (単位:百万円)



■貸出金残高



■住宅ローン残高 (単位:億円)



■金融再生法開示債権残高・比率 (単位:億円)



平成27年度中間期 業績ハイライト

池田泉州ホールディングス

■ 中間連結貸借対照表の要旨 (平成27年9月30日現在) (単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	584,679	預 金	4,718,229
コールローン及び買入手形	666	債券貸借取引受入担保金	187,146
買入金銭債権	96	借 用 金	119,45
外 国 為 替		外 国 為 替	263
社 債		社 債	70,000
商 品 有 価 証 券	205	そ の 他 負 債	45,031
金 銭 の 信 託	27,295	賞 与 引 当 金	1,951
有 価 証 券	998,814	退職給付に係る負債	136
貸 出 金	3,673,107	役員退職慰労引当金	39
外 国 為 替	6,576	睡眠預払戻損失引当金	424
そ の 他 資 産	53,525	ボイント引当金	222
有 形 固 定 資 産	36,566	偶発損失引当金	292
無 形 固 定 資 産	6,609	特別法上の引当金	1
退職給付に係る資産	16,858	繰延税金負債	95
繰延税金資産	18,726	支 払 承 諾	16,406
支 払 承 諾 見 返	16,406	負 債 の 部 合 計	5,159,387
貸 倒 引 当 金	△31,198	(純資産の部)	
		資 本 金	102,999
		資 本 剰 余 金	57,361
		利 益 剰 余 金	63,375
		自 己 株 式	△138
		株 主 資 本 合 計	223,598
		その他有価証券評価差額金	11,777
		繰延ヘッジ損益	△64
		退職給付に係る調整累計額	5,831
		の他の包括利益累計額合計	17,544
		新 株 予 約 権	77
		非 支 配 株 主 持 分	8,328
		純 資 産 の 部 合 計	249,548
資 産 の 部 合 計	5,408,936	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	5,408,936

■ 中間連結損益計算書の要旨 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで) (単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	56,039
資 金 運 用 収 益	31,388
(う ち 貸 出 金 利 息)	(22,963)
(う ち 有 価 証 券 利 息 配 当 金)	(8,050)
役 務 取 引 等 収 益	10,447
そ の 他 業 務 収 益	3,845
そ の 他 経 常 収 益	10,357
経 常 費 用	45,742
資 金 調 達 費 用	4,049
(う ち 預 金 利 息)	(2,420)
役 務 取 引 等 費 用	2,773
そ の 他 業 務 費 用	7,500
営 業 経 費	24,649
そ の 他 経 常 費 用	6,768
経 常 利 益	10,296
特 別 利 益	—
特 別 損 失	195
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	10,101
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	447
法 人 税 等 調 整 額	966
法 人 税 等 合 計	1,413
中 間 純 利 益	8,687
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	91
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	8,596

■ 中間連結株主資本等変動計算書の要旨 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

	株 主 資 本					その他の包括利益 累 計 額 合 計	新 株 予 約 権	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計				
当 期 首 残 高	79,811	59,197	60,155	△253	198,910	27,321	69	8,485	234,788
当 中 間 期 変 動 額									
新 株 の 発 行	23,187	23,187				46,375			46,375
剰 余 金 の 配 当			△5,375			△5,375			△5,375
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益			8,596			8,596			8,596
自 己 株 式 の 取 得				△25,021	△25,021				△25,021
自 己 株 式 の 処 分		△3		116	112				112
自 己 株 主 の 消 却		△25,020		25,020	—				—
株主資本以外の項目の当中期変動額(純額)						△9,777	7	△156	△9,926
当 中 間 期 変 動 額 合 計	23,187	△1,836	3,220	115	24,687	△9,777	7	△156	14,760
当 中 間 期 末 残 高	102,999	57,361	63,375	△138	223,598	17,544	77	8,328	249,548

池田泉州銀行

■ 中間貸借対照表の要旨 (平成27年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	582,699	預 金	4,749,969
コールローン	666	譲渡性預金	14,800
買入金銭債権	90	債券貸借取引受入担保金	187,146
借用金	205	借 用 金	108,177
商品有価証券	263	外 国 為 計	263
金銭の信託	70,000	社 借	
有価証券	27,295	その他の負債	22,934
貸出金	1,022,940	賞与引当金	1,715
外 国 為 計	3,657,940	退職給付引当金	1,327
その他資産	6,576	役員退職慰労引当金	35
有形固定資産	23,727	睡眠預金私民損失引当金	424
無形固定資産	35,855	ボイント引当金	128
前払年金費用	6,569	偶発損失引当金	292
繰延税金資産	9,584	支 払 承 諸	15,770
支払承諾見返	20,340	負債の部合計	5,172,987
貸倒引当金	△16,290	(純資産の部)	
投資損失引当金	△2,267	資 本 金	61,385
		資本剰余金	104,607
		資本準備金	23,843
		その他資本剰余金	80,764
		利益剰余金	41,156
		利益準備金	7,731
		その他の利益剰余金	33,425
		繰越利益剰余金	33,425
		株主資本合計	207,149
		その他有価証券評価差額金	11,631
		繰延ヘッジ損益	△64
		評価・換算差額等合計	11,567
		純資産の部合計	218,716
資産の部合計	5,391,704	負債及び純資産の部合計	5,391,704

■ 中間損益計算書の要旨 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経 常 収 益	49,117
資 金 運 用 収 益	31,985
(うち貸出金利息)	(22,737)
(うち有価証券利息配当金)	(8,891)
役 務 取 引 等 収 益	7,953
そ の 他 業 務 収 益	3,561
そ の 他 経 常 収 益	5,616
経 常 費 用	40,059
資 金 調 達 費 用	4,043
(うち預金利息)	(2,453)
役 務 取 引 等 費 用	4,096
そ の 他 業 務 費 用	7,515
営 業 経 費	22,576
そ の 他 経 常 費 用	1,827
経 常 利 益	9,057
特 別 利 益	10
特 別 損 失	194
税 引 前 中 間 純 利 益	8,873
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	△93
法 人 税 等 調 整 額	918
法 人 税 等 合 計	824
中 間 純 利 益	8,048

■ 中間株主資本等変動計算書の要旨 (平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本				評 価 · 換 算 合 計	純 資 產 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 剰 余 金 合 計	株 主 資 本 合 計		
当 期 首 残 高	50,710	93,932	38,608	183,252	20,959	204,212
当 中 間 期 変 動 額						
新 株 の 発 行	10,675	10,675		21,350		21,350
剩 余 金 の 配 当			△5,501	△5,501		△5,501
中 間 純 利 益			8,048	8,048		8,048
株主資本以外の項目の中間期変動額(純額)					△9,392	△9,392
当 中 間 期 変 動 額 合 計	10,675	10,675	2,547	23,897	△9,392	14,504
当 中 間 期 末 残 高	61,385	104,607	41,156	207,149	11,567	218,716

プロフィール

株式会社 池田泉州ホールディングス

設立日 平成21年10月1日
所在地 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号
資本金 1,029億円
事業の内容 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理及びこれに付帯関連する一切の事業
従業員数 87名
上場取引所 東京証券取引所

■役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長 藤田 博久	取締役 田原 彰	取締役(社外) 大橋 太朗
代表取締役会員 片岡 和行	取締役 鵜川 淳	取締役(社外) 平松 一夫
代表取締役 久保田洋	取締役 井上 基	監査役(常勤) 昌尾 一弘
代表取締役 辻 二郎	取締役 前川 浩司	監査役(常勤) 小林 弘明
	取締役 前野 博生	監査役(常勤) 西 隆史
	取締役 宮田 浩二	監査役(社外) 今中 利昭
		監査役(社外) 山田 康男
		監査役(社外) 福田 秀樹
		監査役(社外) 佐々木 敏昭



株式会社 池田泉州銀行

設立日 昭和26年9月1日
所在地 大阪府大阪市北区茶屋町18番14号
資本金 613億円
預金 4兆7,499億円
貸出金 3兆6,579億円
店舗数 139力店
従業員数 2,548名

■役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役頭取 藤田 博久	常務取締役 田原 彰	取締役(社外) 大橋 太朗
代表取締役会員 片岡 和行	常務取締役 鵜川 淳	取締役(社外) 平松 一夫
代表取締役 久保田洋	取締役 井上 基	監査役(常勤) 昌尾 一弘
代表取締役 辻 二郎	取締役 前川 浩司	監査役(常勤) 小林 弘明
	取締役 前野 博生	監査役(常勤) 北川 智司
	取締役 宮田 浩二	監査役(社外) 今中 利昭
		監査役(社外) 山田 康男
		監査役(社外) 福田 秀樹
		監査役(社外) 佐々木 敏昭

(平成27年9月30日現在)

店舗のご案内

● 池田泉州銀行店舗

△ 同店舗外ATMコーナー

◆ 同外貨両替ショップ・自動外貨両替コーナー

(平成27年12月1日現在)



池田泉州銀行店舗所在地

(平成27年12月1日現在)

大阪府

大阪市	
本店 営業部	大阪市北区茶屋町18番14号 〒530-0013
本町支店	大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号 〒541-0056
大阪西支店	大阪市西区江戸堺2丁目1番1号 〒550-0002
堤筋支店	大阪市中央区本町1丁目8番12号 〒541-0053
あべのハルカス支店	大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目番3号 〒545-6018
梅田支店	大阪市北区芝田1丁目1番3号 〒530-0012
堂島支店	大阪市北区西天満2丁目6番8号 〒530-0047
淡路支店	大阪市東淀川区東淡路4丁目18番9号 〒533-0023
上新庄支店	大阪市東淀川区上新庄2丁目24番23号 〒533-0006
豊里支店	大阪市東淀川区豊里2丁目9番13号 〒533-0013
大宮町支店	大阪市旭区大宮1丁目5番12号 〒535-0002
新大阪支店	大阪市淀川区宮原3丁目5番24号 〒532-0003
難波支店	大阪市中央区難波3丁目7番12号 〒542-0076
帝塚山支店	大阪市住吉区帝塚山東1丁目8番4号 〒558-0054
昭和町支店	大阪市阿倍野区阪南1丁目28番4号 〒545-0021
長居支店	大阪市住吉区長居3丁目8番14号 〒558-0003
駒川町支店	大阪市東住吉区駒川3丁目30番10号 〒546-0043
城東支店	大阪市城東区今福東1丁目10番5号 〒536-0002
住之江支店	大阪市住之江区西住之江1丁目1番41号 〒559-0005

池田市	
池田営業部	池田市城南2丁目1番11号 〒563-0025
石橋支店	池田市石橋2丁目17番13号 〒563-0032
石橋駅前出張所	池田市石橋1丁目8番4号 〒563-0032
池田駅前支店	池田市栄町1番1号 〒563-0056
池田東支店	池田市旭丘2丁目4番15号 〒563-0022

箕面市	
箕面支店	箕面市桜井1丁目7番25号 〒562-0043
箕面駅前支店	箕面市箕面6丁目2番5-101号 〒562-0001
小野原支店	箕面市小野原東3丁目13番22号 〒562-0031
豊能郡	
能勢支店	豊能郡能勢町森上151番地の13 〒563-0362
ときわ台支店	豊能郡豊能町ときわ台5丁目7番地の6 〒563-0102
光風台出張所	豊能郡豊能光風台2丁目20番4号 〒563-0104

豊中市	
豊中支店	豊中市本町1丁目2番4号 〒560-0021
服部支店	豊中市服部元町1丁目6番3号 〒561-0851
庄内支店	豊中市庄内東町3丁目19番32号 〒561-0831
東豊中支店	豊中市東豊中町6丁目3番34-101号 〒560-0003
旭ヶ丘支店	豊中市日丘1丁目1番6号 〒561-0864
北豊中支店	豊中市西緑丘3丁目12番1号 〒560-0005
緑地公園支店	豊中市東寺内町11番23号 〒561-0871
曾根支店	豊中市曾根東町3丁目2番8-101号 〒561-0802
螢池支店	豊中市螢池東町2丁目2番16-101号 〒560-0032
千里中央支店	豊中市新千里東町1丁目5番3号 〒560-0082

摂津市	
摂津支店	摂津市東一津屋13番3号 〒566-0074
千里丘支店	摂津市千里丘2丁目15番10号 〒566-0001

吹田市	
吹田支店	吹田市内本町2丁目2番1号 〒564-0032
千里丘支店	吹田市津雲台1丁目1番4-111号 〒565-0862
北千里支店	吹田市古江4丁目2番 〒565-0874
桃山台支店	吹田市桃山台5丁目2番1号 〒565-0854
江坂支店	吹田市豊津町9番1号 〒564-0051
佐井寺出張所	吹田市佐井寺南が丘17番6号 〒565-0837

茨木市	
彩都支店	茨木市彩都あさぎ1丁目1番10号 〒567-0085
高槻市	
富田支店	高槻市大畑5番2号 〒569-1144
枚方市	
枚方北支店	枚方市長尾元町5丁目19番10号 〒573-0163
津田支店	枚方市津駅前1丁目26番5-101号 〒573-0125

交野市

交野市	
交野支店	交野市星田5丁目11番3号 〒576-0016
大東市	
大東支店	大東市野崎1丁目7番12号 〒574-0015
住道支店	大東市赤井2丁目1番8号 〒574-0046

東大阪市

東大阪市	
東大阪中央支店	東大阪市長田中4丁目1番44号 〒577-0013
東大阪支店	東大阪市下小阪5丁目2番33号 〒577-0803

八尾市

八尾市	
高安支店	八尾市山本高安町2丁目12番1号 〒581-0021
八尾支店	八尾市弓削町1丁目1番地 〒581-0032
羽曳野市	
羽曳野支店	羽曳野市南恵我之荘1丁目1番29号 〒583-0885

松原市

松原市	
松原支店	松原市天美東9丁目1番2号 〒580-0032

藤井寺市

藤井寺市	
藤井寺支店	藤井寺市岡2丁目12番6号 〒583-0027
富田林市	

金剛支店

金剛支店	
金剛支店	富田林市喜志町3丁目10番10号 〒584-0005

堺市

堺市	
鳳支店	堺市西区鳳南町4丁13番地2 〒593-8325
堺支店	堺市堺区一条通14番8号 〒590-0048
諏訪森支店	堺市西区寺崎諏訪森町中158番地14 〒592-8348
初芝支店	堺市東区置西町2丁4番1号 〒599-8114

伊丹市

伊丹市	
伊丹支店	伊丹市西台1丁目1番1号 〒664-0858
稻野支店	伊丹市稻野町4丁目21番地の4 〒664-0861

宝塚市

宝塚市	
宝塚支店	宝塚市南口1丁目7番35号 〒665-0011
仁川支店	宝塚市仁川北2丁目7番1-102号 〒665-0061
壳布支店	宝塚市壳布2丁目5番1号 〒665-0852
中山台支店	宝塚市中山台2丁目2番1号 〒665-0877

新金岡支店

新金岡支店	
新金岡支店	新金岡町4丁1番3号 〒591-8021

高石市

高石市	
高石支店	高石市加茂1丁目21番23号 〒592-0011

泉大津市

泉大津市	
泉大津支店	泉大津市田中12番28号 〒595-0062

和泉市

和泉市	
和泉支店	和泉市府中町1丁目7番7号 〒594-0071
三林支店	和泉市田2丁目2番地の1 〒594-1102
和泉南支店	和泉市箕形町4丁目6番1号 〒594-0042
和泉中央支店	和泉市いびき野5丁目1番2号 〒594-0041

泉北支店

泉北支店	
泉北支店	泉南市信達牧野19番地の2 〒590-0522

泉南支店

泉南支店	
泉南支店	泉南市信達大苗代1400番

■池田泉州銀行店舗外ATM設置場所 (平成27年12月1日現在)

大阪府

大 阪 市
あべのハルカス
イズミヤ淡路
イズミヤ上新庄
関西スーパー南江口
グラフロント大阪
なんばCITY

池 市

池田市役所
市立池田病院
伏尾台

箕面市

粟生間谷
箕面市役所
豊能郡
能勢町役場
のせボックス
豊中市
イズミヤ上新田
小曾根
北急千里中央駅前
豊中市役所
東泉丘

豊中南

吹 田 市
アザール桃山台
ガーデンモール南千里
ららぽーとEXPOCITY

高 橋 市

南平台

枚 方 市

長尾台

交 野 市

コモシティ星田

大 東 市

オーフワ大東店
グルメシティ野崎店

羽 鬼 野 市

ライフ恵我之荘店

富 田 林 市

サニーヒルズ金剛

堺 市

浅香山
アリオ鳳

岸 和 田 市

オーフワ岸和田八田店

クロスモール

コノミヤ中もず店
ナカバヤシ
中もず駅前
パンジョ

高 石 市

高石駅西口

泉 大 津 市

泉大津市役所

和 泉 市

和泉市役所

泉 北 郡

忠岡町シビックセンター
ライフ忠岡店

泉 北 郡

忠岡町シビックセンター
ライフ忠岡店

岸 和 田 市

オーフワ岸和田八田店

大 宮

岸和田駅東
岸和田市民病院
岸和田市役所
スーパーイーエー上松店
スーパーイーエーフード田中店
スーパーイーエー山直店
蛸地蔵駅前
トーカタウン
トーカタウン一番街
ペイサイドモール
ラバーアク岸和田

貝 塚 市

貝塚市役所
市立貝塚病院
二色の浜
パーカタウン
ユニチカオーフタウン貝塚

泉 佐 野 市

泉佐野駅前
泉佐野市役所
イオン日根野
いちらも~る泉佐野
羽倉崎駅前
りんくうプレジャータウンシーカル
りんくうプレミアム・アウトレット

泉 南 市

イオンモールりんくう泉南
泉南市役所
ディリーカナート新家店

阪 南 市

自然田
ディリーカナートはやし阪南店
鳥取ノ莊駅前
阪南市役所
わくわくCITY

泉 南 郡

永山病院前
熊取町役場
岬町役場

兵 庫 県

神 戸 市
イオンモール神戸北
コープ六甲
甲南大学

尼 崎 市

つかしん
南武庫之荘駅前

西 宮 市

コープ西宮北

JR西宮名塩駅前
阪急西宮ガーデンズ
関西学院大学上ヶ原キャンパス

伊 丹 市

イオンモール伊丹
市立伊丹病院
伊丹市役所

宝 塚 市

すみれガ丘
ダイエー宝塚中山

比 ピアめふ

宝塚市役所
宝塚市立病院

川 西 市

川西市役所
けやき坂

川 辺 郡

猪名川町役場
イオン猪名川店

三 田 市

イオン三田ウッディタウン
三田駅前
関西学院大学三田キャンパス

三田市役所

■池田泉州銀行ステーションATM「Patsat (パッとサッと)」設置場所 (平成27年12月1日現在)

阪急電鉄

阪急梅田駅

梅田駅 3F中央 改札内(精算機横)
梅田駅 3 F 南 改札外
梅田駅 3 F 西 改札外
梅田駅 2 F 中央 改札内(精算機横)
梅田駅 2 F 西 スーパー成城石井前
梅田駅 2 F 東 改札外
梅田駅 1 F 中央 ビッグマン広場前
梅田駅 茶屋町口 阪急三番街北館1F

阪急宝塚線・箕面線

十三 駅 改札内(宝塚行きホーム)
三国 駅 改札外
庄内 駅 東出口
曾根 駅 改札外
岡町 駅 改札外
豊中 駅 南改札内および外
茨池 駅 改札外
石橋 駅 東改札外、
改札内(アズナス横)
池田 駅 改札外
川西能勢口駅 改札内、西改札外、
東改札外
宝塚 駅 改札外
箕面 駅 改札外

阪急神戸線・今津線

園田 駅 改札外
塚口 駅 南改札外
武庫之荘 駅 北改札内(階段横)

西 宮 北 口 駅

改札内(駅長室隣)
北改札外、南改札外、
東改札外
夙川駅 南改札外
岡本駅 改札内(三宮方面行きホーム)
六甲駅 改札外
神戸三宮駅 東改札外、西改札外、
改札内
逆瀬川駅 改札外
小林駅 東改札外
甲東園駅 改札外
今津駅 改札外

阪急京都線・千里線

南方駅 改札内(梅田行きホーム)
淡路駅 西改札外
上新庄駅 南改札外
正雀駅 改札内
茨木駅 改札外
茨木市駅 改札外
茨木市駅 改札外
高岡天神駅 改札外
桂駅 改札内
西院駅 改札外
大宮駅 東改札外
大丸駅 西改札外
河原町駅 東改札外、中央改札外
関大前駅 北改札外
南千里駅 改札外
山田駅 西改札外
北千里駅 改札外

北大阪急行電鉄

北大阪急行

千里中央駅 中央改札外
桃山台駅 南改札外
緑地公園駅 南改札外

阪神電車

阪神本線
梅田駅 東改札外
野田駅 改札外
尼崎駅 西改札外
甲子園駅 東改札外(アズナス前)
西宮駅 えびす口改札外
御影駅 改札外

阪神なんば線

西九条駅 西改札外

南海電鉄

南海本線
なんば駅 3F北改札外、3F改札内、
2F中央改札外、2F南改札外
新今宮駅 改札内
天下茶屋駅 改札外
堺羽衣駅 改札外
泉大津駅 改札外
岸和田駅 改札外
貝塚駅 改札外(アンスリー店内)
泉州佐野駅 改札外
関西空港駅 改札外

南海高野線

三国ヶ丘駅 改札外(N.KLASS2F)
中百舌鳥駅 改札外
北野田駅 改札外
金剛駅 改札外
千代田駅 改札外
河内長野駅 改札外

泉北高速鉄道

光明池駅 改札外
和泉中央駅 改札外

神戸市営地下鉄

西神・山手線
新長田駅 改札外
板宿駅 改札外
妙法寺駅 改札外
総合運動公園駅 改札外
学園都市駅 改札外
西神中央駅 改札外
海岸線
三宮・花時計前駅 改札外

コンビニエンスストア ほか

アズナス新阪急ホテル アズナス店内
アズナス茨木店 アズナス店内
アズナス千里山店 アズナス店内
アンスリーekimoなんば アンスリー店内
アンスリーなんばビル アンスリー店内
阪急西宮ガーデンズ 1Fエスティリガーデン出入口
淀川キリスト教病院 1F総合受付横
堺市立総合医療センター 1F正面玄関横

■池田泉州銀行TT証券店舗所在地 (平成27年12月1日現在)

本 店 営 業 部 大阪市北区茶屋町18番14号 T530-0013

☎(06) 6485-0337

(池田泉州銀行 本店営業部内)

堺 支 店 堀川区一条通14番8号 T590-0048

☎(072) 225-5711

(池田泉州銀行 堀川支店内)

神 戸 支 店 神戸市中央区雲井通7丁目1番1号 T651-0096

☎(078) 242-1131

(ミント神戸13F・神戸新聞会館ビル)

株主優待制度のご案内 (平成28年3月予定)

毎年3月31日現在で当社株式を200株以上保有されている株主さまに株主優待を実施しております。2,000株以上を保有されている株主さまには、地域の特産品等(和・洋菓子、地酒、食品等)をお選びいただける「株主優待カタログ」をご用意しております。「株主優待カタログ(地域特産品等)」は、保有株数、保有期間に応じて、より充実した内容にさせていただいております。

※優待制度のご利用方法などの詳細は、対象株主さまに別途ご案内いたします。(毎年6月下旬予定)

保有株数	保有期間	優待内容
10,000株以上	3年以上(※2)	株主優待カタログ(地域特産品等) 10,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ(地域特産品等) 5,000円相当
6,000株以上 10,000株未満	3年以上(※2)	株主優待カタログ(地域特産品等) 5,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ(地域特産品等) 3,000円相当
2,000株以上 6,000株未満	3年以上(※2)	株主優待カタログ(地域特産品等) 3,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ(地域特産品等) 2,000円相当
200株以上 2,000株未満	—	株主優待定期預金(※1)

(※1) 株主優待定期預金のお取扱い内容

お取扱い店舗	●池田泉州銀行の全店舗窓口 ●インターネット支店・ダイレクト支店のテレホンバンキング(インターネットバンキングでのお取扱いはできません)
定期預金の種類	スーパー定期・スーパー定期300
お預入れ期間	1年
お預入れ金額	10万円以上500万円以下
適用金利	スーパー定期店頭表示金利+0.3% (初回満期日まで適用) (預入金額300万円以上の場合は、スーパー定期300の店頭表示金利+0.3%)

(※2) 3年以上継続保有の確認は、直近の3月31日を基準として毎年3月31日及び9月30日の当社の株主名簿に同一株主番号で連続して7回記載または記録されていることをもって判定いたします。

■株主優待定期預金のお取扱い期間を延長いたしました。

平成27年度の「株主優待 定期預金金利アップクーポン」には利用期間「平成27年7月1日(水)～平成28年3月31日(木)」と記載していますが、平成28年6月30日(木)までご利用いただけます。

株式についてのご案内

事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 每年6月

配当金受領株主確定日

期末配当金 3月31日／中間配当金 9月30日

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告掲載方法 電子公告により行います。

公告掲載URL <http://www.senshuikeda-hd.co.jp/>
(ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、産業経済新聞に掲載して行います。)

単元株式数

100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所

東京証券取引所

各種お手続について

●配当金の口座振込に関するお受取りのご案内

配当金のお受取りにつきましては、都度ゆうちょ銀行・郵便局の窓口へお運びいただく必要のない口座振込をご活用ください。

お手続につきましては、お取引の証券会社窓口までお申出ください。特別口座(※)で株式をご所有いただいている株主さまは、三菱UFJ信託銀行へお申出ください。

●単元未満株式の買取請求・買増請求のご案内

当社の単元未満株式(1～99株)は、

①当社に対して、市場価格による買取を請求することができます。

②当社に対して、単元株式(100株)に不足する株式数の市場価格による買増を請求し、ご所有の単元未満株式と合わせて、100株にすることができます。

(※) 特別口座とは、平成21年1月5日の株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構(ほりり)に預託されなかった株式につきまして、当社が株主さまのご名義で株主名簿管理人である上記の三菱UFJ信託銀行に開設している口座です。

●株主さまのお手続に関するご案内

①株主さまの住所変更、配当金振込指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、証券会社等にお問い合わせください。

②特別口座に記録されている株式に関する各種お手続につきましては、上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。また、特別口座に関するお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

○電話(通話料無料) 0120-684-479(大阪)／0120-244-479(東京)

○インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

●未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。





VEGETABLE
OIL INK
本誌の印刷には、環境に配慮した
植物油インキを使用しています。



大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06) 4802-0181
<http://www.senshuikeda-hd.co.jp/>



大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06) 6375-1005
<http://www.sihd-bk.jp/>



大阪府大阪市北区茶屋町18番14号 TEL.(06) 6485-0031
<http://www.sittsec.co.jp/>